

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

- 提案者 ・ 氏名（グループの場合は代表者）：山城太一

A 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイデア

B アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイデア

アマチュア無線で「何が出来る」と謳ってはいません。

全体図の見えず、短波で外国と交信など、話好きなど一部の人しか感心持たない事ばかりしかしない事が残念です。

小学でライトを光らすなどの工作が好きで、初歩のラジオなどを知り毎月購読して、アマチュア無線を知り、金も無いのでCQ雑誌で欲を満たしていました。

アマチュア無線で夢を実現したいと思ってののは高2までと思います。アマチュア無線を外したのがRFシステムさんのマイクロ波伝送器GL-24 00でした。

ラジオマイクなど作ったことが有りますが、「10mW」って夢や希望を無くす規格と感じていました。

CQ雑誌を購読しても、アンテナに使う部材も無く、自作したくても出来ないのが現状でした。

今は、YouTubeや写真などから情報を抜き出し、探すことが出来ています。

現実問題として、ハムショップの閉店を聞きます。全て問題をショップが被る考えはありません。

アマチュア無線に再燃したのは「ドローンの特集」でした。

現状を調べた結果、進化として良い点は「FT8」だけでした・・・。ハムフェア見てもファクス通信など昔の現状維持。進化も無ければアマチュア無線に興味が出るわけがありません。

法律など改正すべき点

- ・現状復帰義務の緩和

BS・CSアンテナでさえダメな家が多い。

耐震対策も出来ないのはおかしい。日常生活でも縛りが多い。

緩和する事で通信だけではなく、実験が充実してアマチュア無線が盛り上がると想像できます。

- ・マンション等アンテナ設置の対策

個人で設置になるので、アンテナ工作物の落下や腐食などトラブルが想像につくので難しいと思います。業者の第三者が確認・説明できる仕組みを作る必要があると思います。

- ・企業側へ

2010年に改正電波法が公布され、この出力上限は従来の10mWから1000mWへと引き上げられました。が・・・。

10mWは夢も希望も失うのが事実。個人・家庭用は良しにしても、業務用は100mWで製品化すべき

携帯電話でもコンクリート壁などで電波が届いているのに届かないのは事実

100mWや1000mWは日本から新しいモノや規格作るにも必要なひとつ。

アマチュア無線に興味を生み出すには・・・。

趣味や考え方、能力などの違いと思いますが、現状では「話で接続しよう」と思わないとアマチュア無線に興味は出ないと思います。

そして、言葉の壁も人それぞれですが・・・。

英語やモールス信号に警戒している人も多いと思います。

その中の一員です。

日本語が分かる人だけ交信できる物(アマチュア無線)だったらいいが。

どうやったら日本語だけで出来るか解説見たこと聞いたことありません。

様々な障がい者がいますが、学習障がい者がいても知的障がい者はいないに等しいと思います。

昔から障がい者はいませんが、仲間に入れようという空気も無かった事に残念に思います。

アマチュア無線の歴史と技術

ラジオや通信機を現在の情報の元、整理し、昔の無線機

アンテナ種類や名前、特性

アマチュア無線で出来る通信方式など

全て拾い上げる専門書を作るべきだと考えます。

高校電気通信系の副本にもなる内容

ラズベリーパイなど安価に出来るのをアマチュア無線にどう結び付けるのか？

今、やらないと10年後って情報有るか？

モールス信号

格安 CW解読器を見ました。信号のみ読み取っても誤差がでるの事。パソコンに接続してネット使ってAIで解析出来るよう、若者に夢を託します。

パソコン・AIが壁を無くす事を願います。

ケーブルの入手

アマチュア無線のケーブルはハムショップなどにありますが。

同じ50Ωにもかかわらず、業務用無線機や携帯電話の同軸ケーブルは中古もジャンクありません。

未来の発展も投資もしない・させないのは、若者を誘うにも厳し。

LCX（漏洩同軸ケーブル）も見ることが出来ない・実験も出来ないのは未来も暗いです。

オーディオマニアでケーブルが有りますが、電波目線でケーブルが使えないのは理解に苦しみます。

FT8

FT8は言葉の壁が有っても電波が外国に届いているんだと認識出来るひとつ思います。

技術目線で見れば自作アンテナ実験に使えるので良い環境と思います。

高校など部活動

昔は「友達の家でゲームを」だったが、友達が無線機持っている訳がありません。

お金も無ければ行動範囲も狭くなります。知らない人と会話するオタク目線なりがちです。

現状の無線通信とアマチュア無線で出来る事が一致すると人口増加も希望が出ます。

お金が無くてもJARLが拠点を作れば、電波暗室での制作・実験や高所アンテナでの通信環境の希望など想像力が高まると思います。

音声だけではなく、映像の強化

アマチュア無線が頭から消えたのが、RFシステムさんのマイクロ波伝送器GL-2400製品化でした。知らない人と交信しようと考えはなく、趣味で映像と音声を長距離でアマチュア無線で出来ないか!!という願いで興味持っていました。

IC-905XGを見ても、何が出来るのか伝わらない。使っている人を見ても会話での交信やモールス通信以外しているのを見たことも無いのが現状です。

アマチュア無線の通信を使ってYouTubeのライブ配信など活用すべきだと

新スプリアス規格

アマチュア無線は昔から周波数がずれているとよく聞きます。

人間と同じく、温度や湿度などに左右されやすいからです。

最近ではアマチュア無線機器にもGPSアンテナが搭載になっています。個人でも昭和・平成のアマチュア無線機器を運用するには、5年以内の広域受信機を複数メーカー持つことを義務化せば周波数のズレは正すこと可能と考えます。

あかんやつの活用

外国製などは必要書類が多いと聞きます。1年半以上の申告内容と無線機のズレを判断し、問題無ければ書類の簡素化など使いやすい環境にす

るべき。

QSLカードの電子化

単に紙からデーター化だけではなく、お互いのコールサインを使い、ネット上で写真や設備などの資料を交換、電子QSLカードの発送・受け取りが出来るシステムを早急に作るべき。JARL会員の若者にお願いしたいひとつです。

昔の常識は非常識

昔の環境や測定器は正確性は低いと思います。

材料の品質も不純物が入って質を下げていたと思います。

昔の情報も知らない子どもたちが作ると、今以上の成果物が生まれると思っています。

実験動画見ても今でも技術やアースなど問題が散見出来る事から技術交換出来る場所や人材が必要と考えています。

押しつけ対策

昔の考えが今でも正しいと思っている人は多数いると思います。引退へ引きずりこんでいるひとつと考えています。

録音など強化し、YouTubeなどで正しい指針を出すべきだと思います。

アマチュア無線の浸透

公共の電波での通信なので誰が聞いても良い事になっています。

しかし、YouTube等になると拒否する事はアマチュア無線全体見ても悪い方向だと思います。

個人情報以外は問題がないとJARLが提示すべきです。

アマチュア無線の宣伝効果

東京スカイツリーや東京タワーにアマチュア無線のアンテナ・リピート局を設置する事。

それ以外に限られた人材から効果的に広める方法は見当たりません。
田無タワーが見えますが、高層部にアマチュア無線10GHzのアンテナが無いのが理解に苦しみます。
目標物があればマイクロ波などに投資しようとなるのだが、タワーも建てられない現実の中、JARLの努力が見えない。

アマチュア無線で何が出来るか伝わっていない・・・。

言葉での交信、モールス通信以外に、若者に伝わっているのがあるだろうか？

アマチュア無線とポケットベルやPHS・携帯電話見た世代から見ても「無線通信で何が出来る・しても良い」が伝わっていないのでは。

音声やモールス通信以外はいわゆる音響カプラでやっているとしたか見えていません。

Twitterの情報で「アマチュア無線でインターネット接続」を見た。

一方向の通信で、どうやってインターネットに接続している無線機と接続しているのか？疑問。

視野を広げるとラズベリーパイが自作も含めて活躍している。安価で誰でも出来る環境があるからだろう。安価で出来る環境とアマチュア無線を結びつける環境が出来ているのか？

アマチュア無線は、個人的な興味のもとに行われる無線通信及び技術的研究とあるが、現在社会と一致以上の事が出来ているのか疑問である。
新しい規格を作る・実験するにも相手が必要と考える。不要であれば資格も不要な10mW以下でやればよいこと。

総合誌でアマチュア無線資格保持者全員に確認する必要がある。

アマチュア無線で明らかに言える事は高速通信はできない。

この点も含めアマチュア無線の魅力を伝えられるかが肝になると考えています。

最後に

インターネットを利用して調べましたが、知らない単語など隠れているのを実感しました。

短い情報で情報や方法など見つかりません。

外国では携帯基地局のアンテナで無線機に接続など想像も膨らみ楽しくなりますが、日本では夢も持てません。

アマチュア無線の夢を生み出す作業はしていないと思われます。

音声だけではなく、映像や通信がアマチュア無線で出来るのか？も資格保持者全員が共有していません。

電波業界では新たな帯域求めています、進歩のないアマチュア無線を20年後に見ているのは残念です。

電波や通信の歴史や、無線機・アンテナ、通信の内容・方法含めて全員で確認し、総合本で共有して前向きなアマチュア無線界になることを願います。

外国に行く気の無いアマチュア無線界の理想を書きました。